

「カルチャープレナー」の創造活動促進事業 文化と経済の好循環創出に向けたラウンドテーブル（第3回）

京都市では、自分たちの文化、価値観などへの愛着等をエネルギーの起点に、共感者を増やし、文化的遺伝子を残していくことを意図して事業を成立させている人を「カルチャープレナー（文化起業家）」として注目しています。カルチャープレナーが創造する価値の新しい評価軸や社会的インパクトを京都から提唱し、文化芸術に投資する新しい潮流を京都から生み出すとともに、創造的な人々の更なる集積や定着に向けた今後の京都の都市デザインを議論する「カルチャープレナーの創造活動促進事業」を実施しています。

その事業の一環として、本市が目指す都市デザイン「文化と経済の好循環を創出する都市」の実現に向けた道筋等を議論する「ラウンドテーブル（全4回）」の3回目となる会合を開催します。

1 日時

令和5年12月16日（土）午後5時～午後7時

2 場所

FabCafe Kyoto

（〒600-8119 京都市下京区本塩竈町 554）

3 内容

テーマ：「都市と、経済の循環」

京都は、日本の文化と経済の拠点として、その創造性を循環させながら発展を遂げてきました。今後、世界に開かれた拠点として、どのようにイノベーションを創出するべきかについて、京都の企業各社とともに、多角的に議論を行います。

また、これまでのラウンドテーブル等を通じて確認した京都の都市としての課題に対して、企業各社がどのようにアプローチし、経済的な価値だけでなく、社会的・文化的・環境的な価値を、共創により生み出すことができるかについても議論を行います。

4 ゲストスピーカー

梶山 泰生氏 京都大学 名誉教授

奥田 武夫氏 オムロン(株) 技術・知財本部 知的財産センタ センタ長

小野塚 恵美氏 エミネントグループ(株) 代表取締役社長CEO

5 参加企業

京都に本社を置く企業の知的財産部門等の担当者 10名程度

6 後援

京都商工会議所、(一社) 京都経済同友会

7 取材について

会場のスペースに限りがございますので、取材を御希望の場合は、令和5年12月14日(木)までに、下記問合せ先まで御確認ください。

8 問合せ先

文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課 担当：森、恵利

TEL 075-222-4200

【参考：ラウンドテーブルについて】

京都における都市のイノベーションのルーツに関するレポートや、社会的課題の現場へのフィールドリサーチ等をもとに、今後、本市が目指す都市デザイン「文化と経済の好循環を創出する都市」について、各界の専門家の参画の下、多角的な議論を行うとともに、企業や学生、マスメディア等の外部の視点も取り入れながら、文化と経済の好循環に向けた道筋や指標等を設計します。

同時に、京都で文化と経済の好循環を生み出すために必要となる人材とは何かを議論する中で、カルチャープレナー等の創造的な人々が果たすべき役割についても検証を行います（全4回開催予定）。

なお、ラウンドテーブルの開催結果については、終了後にウェブ等で公開し、議論のプロセスを可視化します。

第1回

令和5年10月13日（金） 会場：誉田屋源兵衛

テーマ：「都市と、創造性の循環」

京都のイノベーションのルーツを検証するとともに、文化と経済の好循環に向けて、京都は今後どのようなビジョンを描くべきかについて議論を行いました。

第2回

令和5年11月12日（日）・13日（月） 【リサーチツアー】

11月23日（木・祝） 【ラウンドテーブル】

テーマ：「都市と、文化の循環」

学生や企業等の関係者とともに、京都の「水」にまつわる現場をリサーチし、京都で起きている社会的課題の現状を分析するとともに、イノベーションや循環型経済の専門家も迎え、共創による課題解決の方法について議論を行いました。

第3回

令和5年12月16日（土） 会場：FabCafe Kyoto

テーマ：「都市と、経済の循環」

第4回

令和6年1月開催予定

【参考】ゲストスピーカー プロフィール

相山 泰生氏（京都大学 名誉教授）

東京大学大学院経済学研究科博士課程修了、博士(経済学)。ソニー(株)勤務後、京都大学大学院経営管理准教授を経て、2010年京都大学経営管理大学院教授。2014年より京都大学起業家教育プログラム GTEP 代表責任者を務め、大学における起業家教育推進に携わる。2021年相山女学園大学現代マネジメント学部教授、相山女学園副理事長を経て、2022年4月学校法人相山女学園理事長。組織の境界や国境を越えて協働するイノベーション、新規事業のマネジメントについて研究。主な著書に『グローバル戦略の進化』、『越境協働の経営学』など多数。

奥田 武夫氏（オムロン(株) 技術・知財本部 知的財産センタ センタ長）

オムロン(株)に入社後、商品開発エンジニアの経験を経て、2001年より知的財産に関する業務に従事。各事業部門における知財戦略策定、推進を担当した後、全社の知財戦略を担う知的財産センタ長に就任。2017年には内閣府知的財産推進事務局の「知財のビジネス価値評価検討タスクフォース」に参画し、経営デザインシートの策定に携わる。その後、新規事業をスコープとするイノベーションセンタ企画室長を経て、2021年4月より、内閣府知的財産戦略推進事務局にて「知財・無形資産の投資・活用戦略の開示及びガバナンスに関するガイドライン」の策定等の知的財産戦略推進を担当した後、2023年4月より、オムロン(株)に戻り現職。

小野塚 恵美氏（エミネットグループ(株) 代表取締役社長 CEO）

JP モルガン(1998-2000)、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(2000-2020)、カタリスト投資顧問取締役副社長 COO(2020-2022)を経て現職。うち20年以上資産運用に携わり、過去10年 ESG/サステナビリティを専門とする。現在はサステナブルファイナンスと事業の価値創造に関するアドバイザー、研究、執筆、講演など幅広く活動。金融庁サステナブルファイナンス有識者会議委員、経産省非財務情報の開示指針研究会メンバー、内閣府知財投資・活用戦略の有効な開示およびガバナンスに関する検討会メンバー等。著書に『サステナブル経営とサステナブル金融の接続』